

## 自動ミューレン破裂強度試験機

＝適応規格＝ J I S L 1 0 9 6 8 . 1 8 . 1 . A 法

＝用 途＝ 本機は J I S L 1 0 9 6 8 . 1 8 . 1 A 法（織物及び編物の破裂強さ／ミューレン法）に準拠した“自動ミューレン破裂強度試験機”です。本機は主に合成繊維（ポリエステル・ナイロン等）、綿、毛、一般繊維の編物や織物の破裂強度試験機として使用されております。本機は機構と致しましては、モーターにより油圧ピストンでゴム膜を加圧させゴム膜がクランプでつかまれた試験片を突き破る強さ [k P a] を測定致します。

＝特 徴＝

- ・操作が非常に簡便であり、測定者の人的誤差が少ないため、誰にでも簡単に測定できます。
- ・加圧、減圧動作はボタンスイッチで操作、測定データはデジタル表示し、破裂強度値は自動的にピークホールドする。又、ゴム膜圧は、ピークホールドスイッチをリセットする事により表示。
- ・薄手・厚手の編物、織物の試験の場合、試料クランプによるデーターのバラツキを無くし再現性を高め、作業性の向上及び人的誤差をなくす為、自動クランプ（I T-MBDA型）を採用。自動クランプは空圧式で試料の厚み、かたさ等によって加圧力をダイヤルで設定出来、又、圧力計にて表示の為、各種サンプルに最適なクランプ圧力条件で測定が可能となりました。



型式：I T-MB D



型式：I T-MB D A

＝仕 様＝

型 式： I T-MB D（手動クランプ式）、I T-MB D A（自動エアークランプ式）  
 測 定 範 囲： I T-MB D 0～5000 k P a / 最小目盛 1 k P a  
 I T-MB D A 0～2000 k P a / 最小目盛 1 k P a  
 クランプ締付目盛： ダイヤルにて決定（I T-MB D / 実際のクランプ圧を表示するものではありません。）  
 加 圧 方 法： グリセリン油による加圧  
 加 圧 油 量： 98 ± 4 m l / m i n .  
 試 料 寸 法： 150 (W) × 150 (D) m m  
 上 部 及 び 下 部： 上 部 直 径 30.48 ± 0.03 m m  
 ク ラ ン プ 寸 法： 下 部 直 径 31.5 ± 0.25 m m ゴム膜締め付け部厚み / 3.18 ± 0.05 m m  
 電 源： A C 100 V 50 / 60 H z 単 層（御指定により 220 V 仕様も製作可）  
 加 圧 ゴ ム 膜： 鋳物質の充填剤を含まないゴム 厚み 0.84 ~ 0.89 m m  
 付 属 品： 低圧用ゴム膜 フラット円形 0.84 ~ 0.89 t m m 30枚  
 ゴム膜交換用専用レンチ

\*改良の為、仕様・外観は予告なく変更する場合があります。